

# ながぬま

第28回ながぬま農業協同組合通常総代会



第28回通常総代会開催

## 4月5日 長沼町民会館において 「第28回通常総代会」が開催される



第28回通常総代会は、来賓に齊藤町長、西島中央会岩見沢支所長にご出席をいただき、議長団には7区阪清嗣氏、20区柏木哲男氏の両総代を選出し議事が進められ、令和3年度事業報告と令和4年度事業計画、農業振興計画、農協経営刷新中期計画の樹立、さらには任期満了に伴う役員改選などの議案について慎重に審議され、すべての議案が承認されました。

この度の、農業振興計画、農協経営刷新中期



議長団（左：7区阪清嗣氏、右：20区柏木哲男氏）



柴田専務理事によるJA網領朗唱

- ♦ ♦ ♦ 決算報告 ♦ ♦ ♦
- 議案第1号 令和3年度貸借対照表、損益計算書、及び注記表並びに会計監査人及び監事の監査報告について
- 議案第2号 令和4年度事業計画の設定について
- 議案第3号 案の承認について
- 議案第4号 令和3年度事業報告、剩余金処分

- 議案第5号 議案第6号 議案第7号 議案第8号 議案第9号 議案第10号 議案第11号
- 議案第4号 固定資産の取得について
- 議案第5号 役員報酬の支給について
- 議案第6号 役員の選任について
- 議案第7号 退任役員に対する役員退任慰労金の支給について
- 議案第8号 定款の一部変更について
- 議案第9号 信用事業規程の一部変更について
- 議案第10号 農業振興計画・農協経営刷新中期計画の策定について
- 議案第11号 農産物の検査について、農産物検査法に基づく検査の請求、並びに農産物の検査抽出試料の代理受領及び処分に関する一切の権限を組合に一括委任することについて



退任された成田代表理事組合長(左)、飛谷常務理事(右)

- ♦ ♦ ♦ 来賓 ♦ ♦ ♦
- JA北海道中央会岩見沢支所 支所長 齋藤良彦様
- 長沼町 町長 齋藤良彦様

- ①労働保険事務組合の令和3年度徴収・納付状況の報告について
- ②「JAバンク基本方針」の変更について
- ③株式会社FAMO長沼の令和3年度収支決算報告及び令和4年度事業計画について

計画の樹立につきましては、第30回JA北海道大会における将来ビジョン『北海道550万人と共に創る「力強い農業」と「豊かな魅力ある地域社会』』を踏まえ、前計画の重点目標の検証とともに課題整理を行い、3年間の中長期的視点で策定しております。

また、総代会閉会後には、任期満了に伴い、平成26年より専務理事、平成28年からは代表理事組合長として就任されていました成田代表理事組合長と平成28年より常務理事に就任された飛谷常務理事が退任するにあたり、長年の功労に感謝と敬意を表し花束が贈呈されました。



齋藤町長よりご挨拶

# 代表理事組合長 就任挨拶



柴田 佳夫

組合員の皆様におかれましては、本格的な播種、移植作業等に何かとお忙しいことと思います。今後も好天に恵まれ順調に農作業が進むことを願っているところであります。

この度の第28回通常総代会において役員の選任議案を可決決定いただき、同日開催の理事会において理事各位のご推挙により代表理事の重責を担うことになりました。あらためて責任の重さを痛感し、全力で責務を果たすべく心を新たにしているところであります。

さて、農業・地域社会、JAを取り巻く情勢については、コロナ禍を端として、農畜産物の深刻な需要の減少やデジタル化への普及に向け社会・経済の環境の変化が加速しています。

この間、政府では「骨太の方針2021」において未来を拓く4つの原動力として「グリーン（脱炭素化）」「デジタル」「活力ある地方創り」「少子化対策」を重要分野に設定し、「みどりの食糧システム戦略」の法制化の方針、持続可能な社会の実現を目指すSDGsの達成に向けた取組みの加速やデジタル庁が創設されるなど新たな価値観の創造に向けた進展が見込まれています。

J.Aグループ北海道では、昨年開催された第30回JA北海道大会でこれらの状況を見極めつつ、『北海道550万人と共に創る「力強い農業」と「豊かな魅力ある地域社会』』を将来ビジョンとして、農業経営をはじめ地域農業・地域社

会の持続的発展に向け、加速する社会・経済環境の変化への適応やJA経営の強化に取組むこととしています。

このの中、JAでは令和6年度を目標とする農業振興計画を策定し、「長沼農業の更なる発展を目指す農業所得の向上と担い手育成に向けて」をテーマに掲げ、所得向上やコスト削減に向けた営農・担い手支援を推進し、活力ある地域づくりを目指してまいります。

組合員組織の代表として、農協が組合員や利用者のみならず地域住民や消費者からの強い信頼の上にその経営の基盤があることを強く意識しております。組合員の皆様には何卒、ながらぬま農業協同組合の事業に結集されることを願い、共に知恵を出し合い持続的発展に向けた地域農業の確立に向かって役職員一丸となつて誠心誠意努力する所存でありますので、皆様には特段なるご指導ご鞭撻をよろしくお願ひ申し上げますとともに、本年が組合員各位にとって稔り多き豊穣の出来秋を迎えることと益々のご健勝を「祈念し就任のご挨拶」といたします。



服部 正幸

## 専務理事 就任挨拶



岩崎 徹

## 常務理事 就任挨拶



健名 和哉

## 理事 就任挨拶

今回の総代会において、役員改選が行われ理事に選任され、同日開催の理事会において、はからずも専務理事を拝命し、農業を取り巻く環境が一段と厳しさを増す折からその責務の重大さを痛感いたしております。

今日の社会・経済環境の変化は、コロナ禍を端として一層加速しており、農畜産物の深刻な需要減少やデジタル化の急速な普及、SDGsへの貢献やJA改革、農業政策の転換などへの対応が急務となっております。とりわけ水田活用直接支払交付金の見直しについては、当町の農業にとって非常に深刻な影響を及ぼすものであり、その対応にあたっては役職員、農業関係団体一丸となって全力で取組んでまいります。

組合員皆様の農協に対する期待の大きさ、役

この度、総代会で学識経験理事に選任され、同日開催の理事会にて常務理事（信用担当）を拝命、就任いたしました。あらためてその職責の重さを痛感し身の引き締まる思いであります。

今日の農業・JAを取り巻く環境は、コロナ禍による需給環境の影響、デジタル化への対応、

2期目に向かい改めて襟を正し、組合員の所得向上のために努力してまいりますのでよろしくお願いいたします。

SDGsなど持続可能な社会への貢献、水田活用直接支払交付金の見直しなどに向け、組合員皆様の英知を結集し、課題を乗り越えていかなければなりません。

また、農協運営につきましては、信用・共済事業をはじめとしたJA経営を取り巻く事業環境への対応などを求められています。組合員とJA役職員が対話を通じ変化の波を取込んで、組合員の皆様が安心して農業経営が出来るよう自己改革の取組みを継続し取進めてまいります。

このような状況から組合長、専務の下に役職員一丸となり、農家経済向上のため専心努力いたす所存でございますので、組合員皆様方のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げ就任のご挨拶といたします。

組合員の皆様におかれましては、本格的な播種、移植作業等に何かとお忙しいことと思います。今後も好天に恵まれ順調に農作業が進むことを願っているところであります。

この度の第28回通常総代会において役員の選任議案を可決決定いただき、同日開催の理事会において理事各位のご推挙により代表理事の重責を担うことになりました。あらためて責任の重さを痛感し、全力で責務を果たすべく心を新たにしているところであります。

さて、農業・地域社会、JAを取り巻く情勢については、コロナ禍を端として、農畜産物の深刻な需要の減少やデジタル化への普及に向け社会・経済の環境の変化が加速しています。



## 監事 就任挨拶



監事としてJAながぬまと組合員の皆様の力となれますよう、努力していきます。よろしくお願いいたします。



組合員皆様の経営向上とながぬま農協のさらなる発展のため、微力ではございますが、努めてまいりたいと存じます。

## ながぬま農業協同組合役員名簿

(令和4年4月7日現在)

区分	氏名	専門委員会		子会社役員	子会社経営協議会委員
		総務・経対	営農		
代表理事組合長	柴田 佳夫			代表取締役社長	委員
専務理事	服部 正幸			取締役	委員
常務理事	岩崎 徹				委員
理事	健名 和哉	委員長			委員
理事	福島 幸二		委員長		委員
理事	越路 昌隆	副委員長			委員
理事	石尾 大介		副委員長		委員
理事	大橋 敏央		委員		委員
理事	鳥井 昌幸		委員		委員
理事	十河 義満	委員			委員
理事	大崎 貴幸	委員			委員
理事	吉田 満	委員			委員
理事	東山 哲智		委員		委員
(13名)					
代表監事	三好 忠和			代表監査役	委員
常勤監事	松本 豊			監査役	委員
監事	村上 芳宏			監査役	委員
員外監事	中原 久勝				委員
(4名)					

## 代表理事組合長 退任挨拶



成田 正夫

この度、4月5日に開催されました第28回通常総代会をもちまして役員の任期満了により代表理事組合長を退任いたしました。

顧みますと平成22年4月ながぬま農業協同組合理事に選任され、平成26年11月には専務理事、平成28年4月に代表理事組合長を拝名し、通算12年の永きに亘り役員として勤務させていただきました。

この間、農業を取り巻く環境が大きく変わる中、組合員が意欲を持つて當農が継続できるよう微力ながら組合運営に努めてまいりました。

お陰様で、その職責を今日終えることが出来ましたのも組合員をはじめ役職員皆様の方の公私にわたる温かいご指導とご厚情の賜物によるものと心から感謝とお礼を申し上げる次

第であります。  
近年、農業をはじめ社会の環境は大きく変化しており、終息が見えない新型コロナウイルス感染症や今後の水田農業の施策の見直しなど様々な課題が山積しておりますが、組合員の意思を結集した協同の力を組合員の當農と生活を守るために組合員一丸となって支え、この難局を乗り切り、なお一層の「力強い農業」と「豊かな魅力ある地域づくり」を更に進めていただこうことを期待いたしますとこ

末筆になりましたが、長沼農業の発展とながぬま農業協同組合の益々のご隆盛をご祈念申し上げるとともに、組合員及び役職員皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げ、退任のご挨拶とさせていただきま

## 常務理事 退任挨拶



飛谷 博秀

この度、4月5日の第28回総代会において任期満了に伴う役員改選にえ大変お忙しい毎日のことと存じます。

組合員の皆さまには、春耕期を迎えており常務理事を退任いたしました。顧みますと昭和55年に旧北長沼農業協同組合に奉職し、平成6年には旧長沼農業協同組合との合併を経て、平成28年より学識経験理事として6年、通算42年の永きに亘り勤務できましたのも、ひとえに組合員の皆様をはじめ役職員のご指導ご支援の賜物と心から厚く感謝とお礼を申し上げます。

農業・JAを取り巻く情勢は大きく変化しております。コロナ禍を端に国民の間では食料安全保障への関心の高まりとデジタル技術を活用

いたしましたご厚情に深く感謝申し上げますとともに、今後も変わらぬご指導ご厚誼をお願い申し上げます。組合員皆様のご多幸と本年も豊穣の秋を迎えられますこと、JAながぬまの益々の発展を心よりご祈念申し上げ退任の挨拶といたします。長い間、本当にありがとうございました。JAながぬま農業・JAを取り巻く情勢は大きく変化しております。JAながぬまと組合員の皆様の力となれますよう、努力していきます。よろしくお願いいたします。

## トマト生産組合 栽培講習会の開催



3月4日、トマト生産組合は栽培講習会を開催し、生産者45名が参加しました。

岩見沢農業高校の「トマトの低段

どり栽培技術が及ぼす生育・品質への影響」のビデオ視聴後、講師に種苗メーカー、普及センターの栗山普及指導員、阿部當農コンサルタント



## ながぬま麦・大豆生産流通協議会 小麦起生期現地研修会

4月11・12日の日程で、小麦起生期現地研修会が町内14か所で開催され、105名の生産者が参加されました。

普及センターの菅原専門主任と農協の村井當農コンサルタント・桜田技術コンサルタントより、茎数の確認による起生期追肥の目安や起生期以降の生育状況による追肥、今後の防除体系等について説明がありました。生産者から多くの意見・質問が出された有意義な研修会となりました。



## 青年部 勉強会開催

4月8日、農協大会議室にて青年部勉強会が開催されました。内容は『農業経営に役立つ天気のみかた・使い方』について国際気象海洋株式会社の森山知洋気象予報士よりご説明いただきました。青年部員からはテーマに沿った多くの質問があり、大変有意義な勉強会となりました。



を迎えて、本年から栽培が始まる新品种「SC7-167」の栽培方法、後作綠肥・品種比較試験結果、トマトの生理障害対策の講習を行いました。参加者は、桃太郎との栽培方法の違いなど真剣に説明を聞いていました。

3月28日、ブロッコリー生産組合は栽培講習会を開催し、生産者62名が参加しました。講習会は、講師に種苗メーカー、



## ブロッコリー生産組合 栽培講習会

3月28日、ブロッコリー生産組合は栽培講習会を開催し、生産者62名が参加しました。

阿部當農コンサルタント、柴田専務理事、普及センターの栗山普及指導員を迎え、新品種の栽培特性、今後の栽培管理、ブロッコリー作業省力化等の講習を行いました。参加者からは、新品種の品質特性など多くの質問が出る大変有意義な講習会となりました。

通常総会開催

4月22日、長沼町地域畜産クラスター協議会の通常総会が開催されました。

本協議会は、畜産の体質強化における、地域の関係者が一体となって、畜産・酪農が持続・発展するよう各種対策・事業の活用を図りながら計画の達成に向けた取組みを進めております。

総会では、令和3年度事業報告・令和4年度事業計画・収支予算などについて協議し承認されました。



## 農業用廃プラスチックの回収について

農業用廃プラスチックの処理は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」において、産業廃棄物に指定されており、その処理は農業者自らの責任において適正に処理することが義務付けられています。

農業用使用済プラスチック適正処理に、ご理解の程よろしくお願ひいたします。

### 1. 受入日程 令和4年6月7日(火)～9日(木) 時間 8時30分～16時00分

	ビニール類	プラスチック類	
	7日(火)	8日(水)	9日(木)
午前	1区～16区	1区～8区	17区～24区
午後	17区～31区・市街地	9区～16区	25区～31区・市街地

### 2. 受入場所 麦バラ調整施設構内 (トラック1台毎に荷降ろし前後に2回計量)

### 3. 回収物

農業用廃ビニール類	農ビ・農ポリ・肥料袋・ラップ・マルチ・灌水チューブ ※上記以外の物は受入できませんので充分注意願います
農業用廃プラスチック類	※フレコン・苗箱・農薬容器(洗浄済み)・ネット類・糸入りホース・ブルーシート・点滴チューブ・その他農業用廃プラスチック類
回収できない物	ゴム製品・ビン・金属類・ダンボール・木屑・一般家庭ゴミ・発泡スチロール・FRP(繊維強化プラスチック)

### 4. 処理代金

農業用廃ビニール類	24円/kg(消費税別)
農業用廃プラスチック類	36円/kg(消費税別)

※取引口座(クミカンまたは普通貯金)で支払いいただきます。

### 5. 助成金

- 長沼町より5円/kg以下の助成金が支給されます。(JAも長沼町と同額を助成。)
- 助成金の支払いは、2回目の回収(11月末予定)が終了し、年間処理量が確定した後(12月頃)となります。

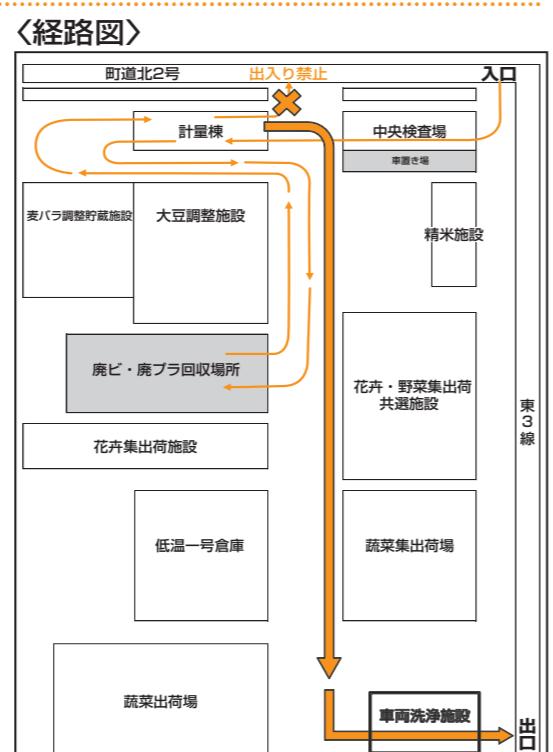
### 6. その他

- 「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づいて、「産業廃棄物処理委託契約締結に関する事務」の委任状の事前提出が必要となります。當農部當農企画課まで提出をお願いします。
- 運搬中は路上への落下防止にご協力をお願いいたします。

### ～廃ビ・廃プラ回収時注意点～

- フレコン袋は「廃プラスチック類回収日」の受け入れとなります。
- フレコン袋の中に廃ビニール類は一緒に入れないとお願いします。
- 農ビ(P.O.除く)は、降ろす場所が異なる為、分別して車両に積載してください。
- 塩ビパイプなど長さがあるものは、1m以内で切断してください。
- 農薬の容器類は必ず水洗いしてください。透明なビニール袋(粒殻用ポリ袋など)に入れ、マジックで氏名を記入してください。
- ラップ類に牧草など付着している場合は回収できません。

お問い合わせ先：ながぬま農協 宮農部 宮農企画課 TEL 88-2226



通常総会開催

4月22日、長沼町地域農業再生協議会の通常総会が開催されました。

本協議会は、経営所得安定対策等による通常総会となりました。本協議会は、経営所得安定対策等の円滑な推進のため、行政と農業団体等の連携、戦略作物の生産振興や地域農業の振興等を目的としており、主な事業内容は制度の内容周知や申請支援をはじめ、米の「生産の目安」におけるルール設定などを行っております。

総会では、令和3年度の事業報告・収支決算、活用内容等について協議し承認されました。また、水田活用直接支払交付金の見直しに係る各団体の課題について意見交換も行われました。

当協議会における産地交付金は、水田農業経営の課題に対応し、収益力向上に資する取組みに対し支援する内容としており、具体的な活用方法については別途ご案内させていただきます。



高野館長に雑誌を手渡す富澤宮農部次長

今後においても、経営所得安定対策等の円滑な運営のために北海道農政事務所、北海道などと十分に連携実施してまいります。

農協では、これから社会を担つていく子供たちに、日本の農業、それを支えるJAについて理解を深めてもらうために、長沼町図書館に食農教育の教材を贈りました。贈った教材は、(社)家の光協会発行の雑誌「ちやぐりん」で富澤宮農部次長から長沼町図書館の高野館長に手渡されました。

# 5~6月上旬の 秋小麦栽培

## ポイント



### 今年の「きたほなみ」生育期節と平年値( )

起生期 4/3 (3/30)	幼形期 4/29 ~ 5/2(4/30)	止葉期 (5/24)	出穂期 (6/2)
----------------	----------------------	------------	-----------

今年の起生期は、平年より4日程度遅れましたが、その後の好天で平年並からやや遅いです。生育期節に応じた作業に望んでください。

#### 1. 止葉期と出穂期以降の窒素追肥など

- 止葉期(5月下旬)追肥基準 「きたほなみ」4kg/10a 「ゆめちから」4~6kg/10a
- 出穂期(6月上旬)追肥 生育(葉色)状況に応じて実施の有無

実施方法 低タンパクが心配 尿素1%液(水100ℓに尿素1kg)散布 2~4回  
注「きたほなみ」止葉直下葉の葉色値(SPAD)50以上では追肥を行わない  
注「ゆめちから」止葉直下葉の葉色値(SPAD)45未満は止葉期増肥や開花期葉面散布を行う

※ 粒厚肥大・収量向上への葉面散布(例)「亜リン酸資材」「サンカラー」400倍液(100ℓ/10a) 開花最盛期~乳熟期に3回程度

#### 2. 雑草対策(除草剤の使用)

雑草が大きくならぬうちに(草丈20cm以下)散布する。気温20℃程度あれば、除草効果が高まる。

※ MCPソーダ塩 300g/10a 収穫45日前(6月5日頃まで)

※ バサグラン液剤 100~150ml/10a 雜草の3~6葉期 収穫45日前

#### 3. 倒伏防止(主な植物成長調整剤)

起生期茎数1200本/m<sup>2</sup>以上(地面が殆ど見えない)の麦は、植物成長調整剤を検討しましょう。

① エスレル10	止葉期~出穂始期	200~333ml/10a
② サイコセルPRO	出穂前10日~20日	200~300ml/10a

サイコセルPROを幼穂形成期処理済の場合は、サイコセルPROは200ml/10aで処理

#### 4. 病害虫防除

##### (1) 赤さび病

気温が高く雨の少ない条件で多発する(令和元年に多発した)。  
特に、発生ほ場および近接ほ場では、5月中旬頃から防除を実施。

##### 主な赤さび防除剤と使用方法

使用農薬	散布時期
ミリオネアフロアブル(4000倍)	5月中旬(止葉抽出始)
イントレックスフロアブル(2000倍)	~5月下旬(止葉期)

##### (2) 赤かび病

低温年に発生が多くなり、出穂期、開花期以降に降雨や曇雨天傾向で発病助長。  
開花時期に最も感染しやすい。

1回目防除は開花始めに必ず防除し、その後7日間隔で2回防除を実施。

多雨で乳熟(登熟)期中に雑菌が多発する条件では4回目の臨機防除を実施。

##### ※ 防除体系例(栽培基準掲載)

1回目 開花始期(6/10頃)	シルバキュアフロアブル(2000倍)
2回目 1回目散布後7日後	ベフトップジンフロアブル(800倍)
3回目 2回目散布後7日後	ミラビスフロアブル(1500倍)
※ ミラビスフロアブルは小麦の黒変症状を抑制する効果も高い	
4回目(降雨が多い年(臨機散布)) シルバキュアフロアブル(2000倍)	

##### (3) ムギクロハモグリバエ、アブラムシ対策

ムギクロハモグリバエ、アブラムシ等の害虫が見られる場合は、赤かび病防除時(2回目以後)エルサン乳剤(1000倍)またはゲットアウトWDG(3000倍)等を混用する。

# 5~6月の 水稻栽培

## ポイント



#### 1. 早期異常出穂(不時出穂)の防止

近年5月中下旬の最高気温は高い傾向で推移しています。2.5葉期以降のハウス内気温が高温(25℃以上)を避けるハウス換気がポイントとなります。

特に、成苗ポット苗は温度が上昇して老化しやすいため、注意してください。

#### 2. 育苗追肥の目安

老化苗は移植時のダメージで初期分けつが、消失する可能性が高くなります。移植前追肥を行いましょう。

##### 育苗型式別の追肥の目安

型式	時期	1~1.5葉期	2~2.5葉期	移植3~5日前	3~3.5葉期
中苗(箱マット)	N-1.0g/箱	N-1.0g/箱	N-1.0g/箱	(N-1.0g/箱)	(N-1.0g/箱)
成苗(ポット)	無	無	N-0.5g/箱	(N-1.0g/箱)	

※ 3葉期以降の追肥は、必要に応じて(老化苗対策)

##### ● 1箱当たりN-1.0程度施用の場合

施肥例-1 NP57号(N15-P7) 6~7g/箱(枠)

施肥例-2 苗床追肥用尿素複合液肥(N18-P6) 5ml/箱(枠)(水1ℓ 200倍液)

#### 3. 移植の目安

5月中旬以降、移植適温に達したら適期に移植しましょう。

側条施肥(移植同時)の窒素量は3~4kg/10aを施用し、特に疎植栽培は側条施肥窒素量4kg/10a以上が必須です。

育苗様式	移植早限		移植晩限
	気温	月日	
成苗ポット	11.5℃	5月14日	6月5日
中苗ポット	12.0℃	5月15日	5月31日

※ 移植後5日間の平均気温の目標値

※ 長沼町アメダス平年値より算出

#### 4. 効果的な除草剤の使用時期

初期除草剤、初期一発除草剤、初中期一発除草剤処理時期のタイミングは、代かき後日数及びノビエ葉令の判断が重要です。

近年、5月下旬~6月上旬の気温は、比較的温暖で経過しています。雑草発生も早まっています。除草剤の効果的使用へは、移植後7日以内の処理を目指しましょう。

##### ※ 代かき時期と一発除草剤処理のタイミング目安(初期剤体系しない場合)

移植前日数	移植	移植後日数
-7~-5	-4~-3	-2~-1
0~4日	5~6	7~8
代かき	多数の一発剤	2葉期
代かき	多数の一発剤	2葉期
代かき	多数の一発剤	2.5葉期
代かき	多数の一発剤	3葉期

※ 葉令は、ノビエ葉令を示している

※ 気象条件や土壌条件、前年の発生条件によってノビエ葉令は変動する

※ 一発剤によって使用時期が移植時~ノビエ2.5葉期、移植後3日~ノビエ2葉期、など異なるので注意する

## 5. 雑草対策（除草剤の使用）

### (1) は種直後（土壤処理）と出芽直前～出芽揃い（生育処理）

イネ科十広葉雑草除草に効果ある土壤処理剤として以下の単剤、混合剤等がある。

主なは種後出芽前（雑草発生前）処理の除草剤（2成分以上）処理の例

除草剤名	10a 使用量	10a 成分投下量(g)						登録基準量
		ラッソ	ロロックス	フィールド スターP	ゴーゴーサン	デュアル ゴールド	フルミオ	
ラクサー乳剤	600 mL	180	72					400～800mL
ラッソ乳剤 +ロロックス水和剤	300 mL 150 g	129	75					
エコトップP乳剤	600 mL		72	84.0				400～600mL
プロールプラス乳剤	500 mL		57	33.5	32.5			400～600mL
フィールドスターP +フルミオWDG	120 mL 5～10 g			76.8			2.5～5.0	
デュアルゴールド +フルミオWDG	100 mL 5～10 g				83.7		2.5～5.0	

※ プロールプラス乳剤使用における要注意事項

散布直後の多量の降雨は、薬害の恐れがある。後作物としてかぼちゃ等のうり科やほうれんそう、そばを作付けすると生育抑制があるので避ける。

※ フルミオWDG使用における要注意事項

大豆出芽後に使用すると薬害が出る。散布直後の多量の降雨は、薬害の恐れがある。

### (2) 出芽直前～本葉1葉（雑草発生揃い）処理

パワーガイザー液剤 (200～300 mL/10a)

※ パワーガイザー液剤は雑草発生揃い処理が望ましい。

### (3) 1年生イネ科雑草（大豆2～6葉期）処理

※ 1年生イネ科雑草対応除草剤

除草剤名	有効成分 %	使用方法・使用時期	収穫前	10a 当り 使用量	使用回数
ナブ乳剤	セトキシジム 20	1年生イネ科雑草3～5葉期	30日	150～200 mL	1
		1年生イネ科雑草6～8葉期		200 mL	
		1年生イネ科雑草9～10葉期 (スズメノカタビラには効果が劣る)		250～300 mL	
ポルト フロアブル	キザロホップエチル 7	イネ科雑草3～10葉期 (スズメノカタビラには効果が劣る)	30日	200～300 mL	1
セレクト 乳剤	クレトジム 24	イネ科雑草3～5葉期 (スズメノカタビラを除く)	50日	35～50 mL	1
		イネ科雑草5～8葉期 (スズメノカタビラを除く)		50～75 mL	
		スズメノカタビラ3～5葉期		50～75 mL	

### (4) 広葉雑草（大豆茎葉処理）

大豆バサグラン液剤 使用量 100～150 mL/10a

使用時期 大豆2葉期～開花期前（雑草の生育初期～6葉期まで）収穫45日前まで

※ 大豆バサグラン使用の注意事項（令和4年度栽培基準P 24を参照）

使用時期、気象条件によっては薬害が発生し、減収する可能性がある。

5～6月の

ポイント

## 大豆栽培



### 1. 適期は種

は種時期が遅くなると、着莢数の減少、豆の小粒化となり品質・収量が落ちます（右図）。

可能な限り、水稻移植より大豆は種を優先しましょう。

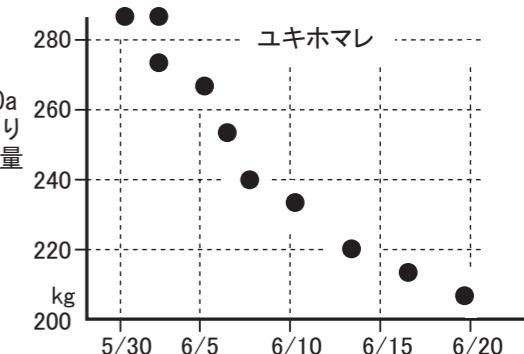
また、発芽揃い及び土壤処理剤効果向上へ、土壤土塊は2cm以下の碎土を目指しましょう。

※は種作業時期の目安 地温 10°C以上

ユキホマレ・トヨムスメ・ユキシズカ

5月15～25日

※平均気温が10°C以上となる時期（平年は5月10日頃）



### 2. 病害虫防除とは種後の低温時の出芽向上対策

は種後低温が続いた場合は、土壤中のピシウム菌により出芽障害を起こした事例が長沼町で過去に何度か見られているので、必ずは種前に以下の種子粉衣してください。

#### ●処理手順（例） クルーザーMAXX使用

（アブラムシ、タネバエ、茎疫病・苗立枯病・根腐病などに効果）

（は種前日か当日）

（1）クルーザーMAXXを塗布（種子1kgに8 mL）

（2）種子乾燥後根粒菌を接種（ノーキュライド種子は不要）

### 3. 基肥窒素の留意点

（1）基肥チッソ量は、10a当たり1.5～2.0kgを目標とする。

（2）前作が野菜（タマネギ、長ネギ、はくさい、ブロッコリー、スイートコーン）及び甜菜の場合は、基肥は無肥料とする。→倒伏防止

### 4. 適正なは種量

過度の密植栽培は、混みすぎて着莢数が減ったり倒伏につながる。

10a当たりは種粒数は概ね20,000～21,000粒

トヨムスメ8～8.5kg ユキホマレ7～7.5kg ユキシズカ3kgを目標とする。

特に地力があるほ場（前作が野菜・甜菜）及び防風林の側のほ場は、19,000～20,000を目標とする。（トヨムスメ7.5kg、ユキホマレ6.9kg、ユキシズカ2.8kg）

ポイント

令和4年1月から

1 の説明

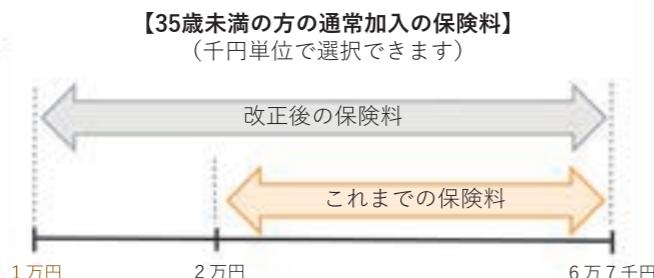
## 35歳未満の方は、月額1万円から加入できる！

35歳未満で認定農業者に該当しない等一定の要件を満たす方は、1万円から（上限6万7千円）でも通常加入できるようになります。（保険料の納付下限額が2万円から1万円に引き下げられます。）

### 【保険料引き下げ（保険料1万円以上）の対象者】

次の①～⑤のいずれにも該当しない方

- ① 認定農業者かつ青色申告者
- ② 認定就農者かつ青色申告者
- ③ ①又は②の者と家族経営協定を締結し経営に参画している配偶者又は直系卑属
- ④ 認定農業者又は青色申告者
- ⑤ ①又は②以外の農業を営む者の直系卑属で、その農業に常時従事する後継者



ポイント

令和4年4月から

2 の説明

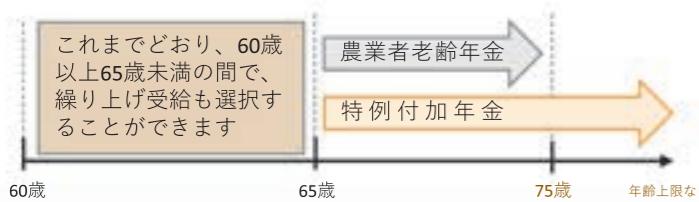
## 年金の受給開始時期を、ご自身で選択できる！

（昭和32年4月2日以降に生まれた方が対象）

年金の受給要件を満たした方は、年金の受給開始時期を、ご自身で選択することができます。

### 【年金の受給開始時期】

- ・農業者老齢年金：65歳～75歳
- ・特例付加年金：65歳以上（年齢上限なし）



### 【年金の受給要件】

#### 【農業者老齢年金】

- ・65歳以上であること

#### 【特例付加年金】

- ・60歳に達した日の前日において20年以上の保険料納付済期間等を有していること
- ・農業を営む者でないこと（経営継承を完了していること）
- ・65歳以上であること

ポイント

令和4年5月から

3 の説明

## 加入可能年齢が、60歳から65歳に引き上げ！

現在、農業者年金に加入できるのは、農業に従事（年間60日以上）する方で、20歳以上60歳未満の国民年金第1号被保険者ですが、60歳以上65歳未満で国民年金に任意加入している方も農業者年金に加入できるようになります。

### 【国民年金の任意加入者とは】

国民年金の保険料納付済期間が480月(40年)に満たない  
60歳以上65歳未満の方で、年金額の充実を目的として、国民年金に任意で加入している方をいいます

### 【農業者年金の加入要件】

農業に従事（年間60日以上）する方で



お問い合わせ 経営相談部 経営相談課 TEL 88-2229

2021.12



# 農業者年金が さらに便利になります！

～より加入しやすく・生活設計に応じた年金受給～

Nou  
NEN

ポイント

令和4年1月から

1

## 若い農業者が加入しやすいよう 保険料が引き下げられます

（35歳未満の方は、月額1万円から加入できます）

ポイント

令和4年4月から

2

## 農業者年金の受給開始時期の 選択肢が広がります

（年金の受給開始時期を、ご自身で選択できます）

農業者老齢年金：65歳以上75歳未満

特例付加年金：65歳以上（年齢上限なし）

ポイント

令和4年5月から

3

## 農業者年金の加入可能年齢が 引き上げられます

（60歳以上65歳未満の方も加入できます）



詳しくは… 農業者年金基金

検索

<https://www.nounen.go.jp>



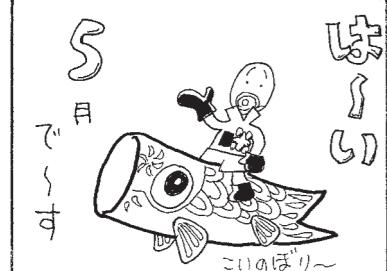


# 令和4年度 トランクター作業等基本協定料金表

この料金は、30a 1筆のほ場での作業を基本としています。  
特殊な土壤や作業程度などの条件がある場合は、双方で協議のうえ、決定してください。

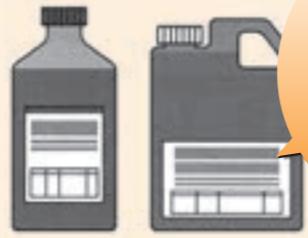
(消費稅別)

作業区分	作業機	対象	単位	料金(円)	作業機のみ(円)	料金の設定基準とした作業機の性能等
土 壤 改 良	ソイルクランブラー	田・畠	10a	2,000	600	9本、水田・畠地用
	プラソイラー	田・畠	10a	2,300	500	3本爪
	サブソイラー	田・畠	10a	2,300	500	3本爪、50~70ps
	レーザーレベラー	田・畠	1時間	11,000	—	作業幅4m
	モミサブロー	田・畠	1m	20	10	溝幅4cm、溝深30~45cm
耕起・整地	プラウ耕	田	10a	3,000	1,000	12x3、耕深10~18cm
		畠	10a	2,500	1,000	12x3、耕深10~18cm
	ロータリー耕	田	10a	3,200	1,200	2m、36~58ps
	ロータリー碎土	田	10a	3,000	1,200	2m、36~58ps
		畠	10a	3,000~5,000	—	2m、36~58ps
	アッパー・ロータリー	畠	10a	3,700	1,500	2m、36~58ps
	パワーハロー	畠	10a	3,300	1,300	2.5m、10ロータ
	スタブルカルチ	田・畠	10a	2,500	800	6本爪
散 布	代掻き	田	10a	3,000	—	ドライブハロー、3.4m
	融雪材散布機	田・畠	10a	—	1,000	散布幅18m
	マニアスプレッター	田・畠	10a	3,000	1,000	
	牽引式	田・畠	10a	3,200	—	15.4m³、130ps
	自走式	田・畠	10a	—		
中耕・除草	ブロードキャスター	田	10a	800	300	800ℓ
	施肥カルチ	田	10a	1,400	500	5畦
	ロータリーカルチ	田	10a	2,100	1,000	3畦
は種・移植	田植機	田	10a	5,600	4,000	8条、ポット仕様
	グレンンドリル	畠	10a	2,900	1,500	2.5m、20条
	プランター	畠	10a	2,300	1,300	4畦、ダブルタンク、60/40ℓ×4
	真空は種機	畠	10a	2,600	1,600	4畦
	不耕起は種機	畠	10a	3,700	2,700	
	ビート移植機	畠	10a	5,300	3,000	4畦
	玉葱移植機	畠	10a	5,200	—	4畦
防 除	ブームスプレイヤー	田	10a	1,600	—	散布幅21m、1500ℓ
		畠	10a	1,300	—	散布幅21m、1500ℓ
	無人ヘリ	田・畠	10a	1,500	—	ヤマハFAZER R
収穫・刈取	コンバイン	稻	10a	8,700	—	
		秋麦	10a	6,500	—	補助作業員・移動トレーラーは別料金
		春麦	10a	6,000	—	雑草繁茂ほ場には別途1,600円加算
		豆類	10a	6,500	—	小麦の低刈には別途1,600円加算
		子実コーン	10a	8,000	—	
	ビートハーベスター	畠	10a	5,000	2,700	1畦、タンク容量5.8m³
	オニオンハーベスター		10a	10,200	—	自走式、1.2m
	モアー		10a	3,100	1,000	3.0m、75ps
	テッター		10a	700	—	6.45m、70ps、6ロータ
	レーキ		10a	700	300	
捆 包	自走式レーキ		10a	1,500	—	
	ペーラー	田・畠	梶包	200	—	
	秋作業	田・畠	梶包	1,300	—	
		田・畠	梶包	1,600	—	
		田・畠	梶包	1,600	—	80ps、1.23xΦ1.68m
そ の 他	鎮圧ローラー	畠	10a	800	300	2.4m
	畔塗機		1時間	1,700	600	
	ストローチョッパー		10a	1,500	600	2.5m、44~58ps
	ドローン		10a	1,000~	—	作業内容により料金変動(要相談)
	穀物乾燥		1俵	1,000~1,600	—	麦・大豆・子実コーン
	トレーラー運搬料		1回	3,500	—	片道運搬料の価格



## 資材センターより お知らせ

これから農薬を使用する時期が多くなってきます。使用前には農薬のラベルに書かれている適用内容を確認し、散布できる作物や使用量・濃度、使用時期そして総使用回数は必ず守りましょう。



- ラベルの内容を確認!
- 作物
- 適用病害虫
- 使用量、濃度
- 使用時期
- 総使用回数 等

### 薬液のつくり方

水→展着剤→乳剤→フロアブル剤→水和剤

ただし、一部の展着剤には最初に入れる事を推奨されていないものもありますので、使用前にラベルの注意事項をご確認ください。

## 令和4年度 JA共済一斉推進のお知らせ

本年度、6月6日から6月10日までの5日間の予定でJA共済の一斉推進を行います。

JA職員が各戸を訪問し、生命保障プラン・自然災害に備えた保障（住宅・納屋・格納庫）プランを、皆様の目的・生活設計に合わせご提案いたしますので、よろしくお願ひ申し上げます。

## J Aコネクト FAX機能の運用開始の遅れについて

J AコネクトのFAX機能につきましては、本年4月からの運用開始を予定していましたが、ウクライナ情勢の混乱を受けて、当JAのFAX環境を整備するための機材の生産・供給が遅延している状況にあります。

このため、誠に恐縮ではありますが、[J AコネクトのFAX機能の運用開始を5月以降に延期することとしました。](#)

FAX機能の運用開始までの期間は、スマホアプリのみに情報配信させていただくことをご了承ください。（FAX機能の運用開始時期は未定です）

FAX機能の運用を開始したら、J Aコネクトにてご連絡させていただきますので、今しばらくお待ちくださいようお願ひいたします。

## JAグループ通信



各団体の詳しい取組み内容については、WEBサイトをご覧ください。

### JA北海道中央会



#### ◆ご当地JAカレー1グランプリを開催!!

JAグループ北海道が協賛する「あぐり王国北海道NEXT」では、米の消費拡大を目指し、全道各地のご当地JAカレーを集めたグランプリを初開催しました。

公募した結果、12JAの参加となり、発表順を決める緊張のくじ引き、その土地自慢の農畜産物を活用したカレーのPR、JA職員の個性豊かな全力プレゼン、悩ましい実食審査など、見どころが満載です。ナンバー1カレーはどのJAが獲得したのか!?

HBCにて4月23日(土)・30日(土)  
の17時から2週連続放送です!

HBCの無料動画配信サービス「もんすけTV」では、5月末まで見逃し配信も実施しますので、ぜひご覧ください!

### JA北海道信連



#### ◆教材本贈呈事業を展開

JAバンクでは、次世代を担う子供たちへの食農教育を支援するため、農業とわたしたちの暮らしをテーマとした教材本とDVDを作成し、道内各地のJAを通じて全道の小学校・特別支援学校に毎年贈呈しています。



令和4年度においても、北海道教育委員会等のご理解、ご協力のもと、全道1,005校の小学5年生（約4万人）と、20校の特別支援学校へ、教材本等の贈呈を行いました。

### JA共済連北海道



#### ◆資料請求キャンペーンを実施

JA共済ホームページの『ひと・まとめプラン』ページから掛金シミュレーションを行い、資料をご請求いただいた方の中から、抽選で240名様に素敵な賞品をプレゼントします。

キャンペーン第1期は9月30日（金）まで。この機会にJA共済のホームページへのアクセスお待ちしています！



### ホクレン



#### ◆第2回 北海道米そり選手権に協賛

2月11日、滝野スノーワールド（国営滝野すずらん丘陵公園）にて、冬の北海道を楽しむイベントとして開催された“米そり（米袋そり）”を使ったレースに協賛しました。

キッズ・ジュニアクラスと、一般クラスの2クラスに分かれ、約200名が120m近くあるコースでタイムを競い合いました。

優勝者には米1俵（60Kg）がプレゼントされた他、飛び賞、ベストドレッサー賞、パフォーマンス賞などもあり、会場は大いに賑わいました。

### JA北海道厚生連



#### ◆人間ドック受診のご案内

みなさんは1年に1回、健康診断を受けていますか？道内12か所の厚生病院・クリニックで受診できます。

医療併設型という特性を活かして、がん検診を含めた総合的な疾病予防対策も積極的に展開しています。

検査の項目が充実しており、ご希望で追加できるオプション検診もたくさんありますので、詳しくは厚生連、または各病院のホームページをご覧ください。



## 理事会報告 -第4・5回-

《令和4年4月5日開催》

### [議案]

第1号 代表理事、常勤理事の選任について

### [報告事項]

- 会議行事予定について
- その他

《令和4年4月7日開催》

### [議案]

第1号 専門委員会構成について

第2号 役員の席順決定について

第3号 令和4年度各理事の報酬額の決定と支給方法、支給時期について

第4号 退任理事に対する役員退職慰労金の支給金額、支給方法、支給時期について

第5号 子会社役員(監査役含む)・経営協議会委員の選任について

第6号 各協議会などの農協役員の選任について

第7号 令和4年度農産物予約金(契約金)の設定について

第8号 固定資産の取得について

第9号 個人情報取扱規程等の一部改正について

第10号 規程類管理規程の一部変更について

### [報告事項]

- 会議行事報告事項について
- その他

以上、すべての議案について審議し原案通り承認されました。

### 今月の組合員数 (前月比)

組合員 1,577名(-1)

正組合員 812名(±0)

准組合員 765名(-1)

正組合員戸数 642戸(±0)

## 農協の動き 3/23~4/7

### 3月

23日	復元田に伴う水稻栽培講習会並びに輸出用米についての勉強会	於 農 協
24日	水田活用直接支払交付金の見直し等に係る農業者説明会	於 長沼町民会館
28日	北海道農産協会審議委員会	於 札幌市
28日	北海道農産基金協会理事会	於 札幌市
30日	総代会事前説明会	於 農 協
31日	FAMO長沼退職辞令交付	於 農 協
31日	職員退職辞令交付	於 農 協
31日	ながぬま麦・大豆生産流通協議会通常総会(書面議決)	於 農 協
31日	ながぬまクリーンライス生産協議会通常総会(書面議決)	於 農 協
31日	糖業との意見交換会	於 札幌市
31日	人事異動辞令交付(4/1付)	於 農 協

### 4月

1日	新規採用職員辞令交付	於 農 協
1日	ながぬま農協営農集団協議会通常総会(書面議決)	於 農 協
5日	第28回通常総代会	於 長沼町民会館
5日	理事会	於 農 協
5日	監事會	於 農 協
7日	理事会	於 農 協
7日	監事會	於 農 協

## 食と農 ひらく未来へ 確かに目

食農のページがもっと楽しく

食農教育の知識がいっぱいいつまっています。

購読のお申し込みはJAへ



THE JAPAN AGRICULTURAL NEWS

日本農業新聞

## 地域農業の担い手、 JA青年組織盟友を 応援する雑誌



年2回の別冊付録は一つのテーマを  
掘り下げ、わかりやすく解説

お問い合わせ 営農企画課 TEL 88-2232



JA だより ながぬま  
2022.5月号 №.339

〒069-1393 夕張郡長沼町銀座北1丁目5番19号

発行/ながぬま農業協同組合 営農部営農企画課

TEL/0123-88-2226 FAX/0123-88-4113

URL/http://www.ja-naganuma.or.jp